

平成15年度 コムギ遺伝資源小委員会議事 要旨

日時：2003年12月1日（月）午前10時-午後4時

場所：福井県立大学交流センター3F多目的ホール 出席者：

河原、安井、山根、笹隈、荻原、笹沼、川浦、辻本、岸井、大田、村井、森川、那須
田、遠藤（敬称略）

資料（pdf形式）

議題：

1. 平成15年度事業経過報告（各業務別グループ代表）

河原委員 資料（含む参考資料）

遠藤委員 資料+添付AVENALIST2

笹隈委員 資料

辻本委員 資料

荻原委員 資料

2. 平成16年度事業についての予定及び打合せ（各業務別 グループ代表）

河原委員 資料（含む参考資料）

遠藤委員 資料

笹隈委員 資料

辻本委員 資料

荻原委員 資料+"Workshop on Wheat Genome Sequencing"の報告

平成16年度事業については、小委員会メンバーからの希望を各委員に伝えて頂きます
ようお願いいたします。

なお、種子系統の年度の成果について、若干の混乱がありましたので、今後は、「各
年度ごとに播種・育成と種子の収穫を別の成果としてまとめる」ように統一したいと
思います。

3. 2003年度分子生物学会での特別企画の準備状況

河原委員よりポスター案の説明があり了承され、当日会場の担当者について調整が図
られた。

4. MTAの統一

河原委員よりMTAの原案が提示された。議論の結果、MTAの提出先を各機関ではなくNBRPにし、中核機関に送付することになった。文言については笹隈委員が農水省の然るべき担当者に意見を求めることになった。

MTAは種子分譲システムに掲載しておき、直接の問い合わせに対しても、極力、種子分譲システムからMTAを送付してもらい、種子に関してはNBRP・コムギの全ての機関が同じMTAを使用することを合意した。また、今後、DNAリソースのMTAについても種子のものと整合性をとるようにすることが提案された。資料

5. 種子分譲システムの構築

安井委員より説明があり了承された。今後、早い機会に試行を行うことを合意した。資料

6. その他

- 1) 10th IWGSでのNBRPに関するアンケート：安井委員よりアンケート結果についての説明があった。資料
 - 2) WISの将来構想：笹隈・辻本委員よりWISを100号で終了し、100号を記念号にする提案があり、意見が交わされた。
 - 3) 寄託書類：種子・クローン等を外部から導入する際、寄託者との間で交わす書類についての整備を行う必要がある旨、遠藤委員から提案があり、今後調査することにした。
 - 4) 次回小委員会は2004年9月上旬の予定とした。
-